

学年テーマ「追求」

学 年 通 心

雇用の日：メッセージフェアに参加しました。将来の職業について少しずつ視野を広げていきましょう。

雇用の日：メッセージフェア

去る5月28日（火）に光市民ホールで、「雇用の日：メッセージフェア」が行われ、2年生が参加しました。これは光市が、5月31日を「雇用の日」と位置づけ、市内の中学校2年生を対象に、将来の職業選択に向けた情報発信や働くことの大切さ、やりがいを伝えることを目的として実施しているものです。本校2年生も参加し、元中学校教師の木村玄司さんの講話をはじめ、光市で働いておられる様々な職種の方からのお話真剣に耳を傾けていました。また中学生へのインタビューなども行われました。

当日の様子と、生徒の感想を紹介します。

【講師の方から教わった、「力を入れる」実験中】

【インタビューを受ける藤麻君】

【末岡君のインタビュー中継】



- 今日は、雇用の日で市民ホールに行きました。木村さんのお話を聞いて目標を達成するには、メンタルが最優先だなあと感じました。これからは前向きにがんばっていきたいと思います。 1組 男子
- 今日、雇用の日で市民ホールにお話を聞きにいきました。「人からどう思われるとかじゃやない、自分がどう思うかだ！」という言葉が心に残りました。自分に素直になると、周りの見る目も変えられるので、努力することを忘れずにどんな小さな目標でもいいので、作っていきたいです。 2組 女子
- 今日は雇用の日で学習で働くことに対する考えを深めることができました。自分の親からも働くのは大変と聞くので、不安でした。でもやりがいを見つけて、感じられるような職業に就きたいと思いました。そうすると辛い仕事も乗り越えられると思います。 3組 女子

*雇用の日：メッセージフェアでは、働くことや職業について具体的なお話を聞くことができました。中学校2年生の時期は、まだ将来の自分について漠然としたものしか描けていない人も多いのではないかと思います。今回の話を参考に、将来の夢をもち、自分に合っている仕事を探してほしいと思います。この中学校2年生という時期に雇用の日：メッセージフェアが行われるということは、自分の進路についてそろそろ真剣に考えてほしいというまさに皆さんへの「メッセージ」ではないでしょうか。